

あすなろ

第 19 号

発行 弘前大学教育学部
同窓会
〒036 弘前市大字文京町 1
TEL. 0172 (36) 2111代表
編集事務局
弘前市大字豊原一丁目3の3
弘前市立第三中学校内
TEL. 0172 (36) 2361



弘前大学創立五十周年を
迎えるにあたって

弘前大学教育学部同窓会
会長 木村 清之助

新年を迎えてから例年がない連日の大雪に見舞われた弘前ですが、会員の皆様にはご健勝で活躍のことと拝察いたします。

前号でお知らせの通り、平成十一年には弘前大学創立五十周年を迎えることになり、現在その記念事業推進のための準備が各学部同窓会はじめ関係者、団体のご支援のもとに着々と進められております。

昭和二十五年に第二回生として入学した当時を思えば隔世の感があります。学生寮生活では満腹になることもなく、さりとて街に出ててもソバ屋もない。部活動で遠征の時は、まず農家をお願いして米を手に入れることから始めなければならぬ。今の文教キャンパスから公園内にあった教育学部の往復は、殆んど学生は徒歩でした。自転車を持つている学生は何人いたでしょうか。

しかし学生生活は藤田別邸でのダク酒による「園遊会」をはじめいろいろな行事があつて、貧しかったが結構楽しかった。今の学生諸君には夢物語のようでしょう。

子どものいろいろな問題に接するたびに、いつも思っておすろーの言葉があります。教育論「エミール」の中で「子どもを不幸にするいちばん確実な方法は、いつでもなんでも手に入れられるようにしてやることである」と述べています。現代はまさしくこの言葉を地で行っているような状況です。



年頭に当たって

教育学部長 小澤 薫

教育学部同窓会の皆さま、平成十年の穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

現代社会は、非常に早いテンポで変化しつつありますが、この変化の波に本教育学部も洗われながら、長い歴史の殻を破って大きく変わろうとしています。

この変化のアクセレレーションは、昨年、動きが急になった国の財政構造改革計画と少子高齢化社会等への直接的対応措置としての教員養成学部の縮小政策に端を発しています。

具体的には、国立大学教員養成課程の学生五千人減の計画実施と二十一世紀を目標とした教員養成学部のあり方を明確に盛り込んだ改革が、各大学に求められたことにあります。

本教育学部におきましても、教職員が一丸となって協力し、この問題に取り組んでおり、文部省との折衝も重ねられております。

現在、教育学部は一学年の学生定員が三七〇名で、小、中、養護学校、幼稚園、看護教員及び養護教諭の六つの養成課程で構成されていますが、これを二七〇名に縮小し、学校教育教員養成課程(仮称)

と生活文化総合課程(仮称)に編制替えをする方向で検討を進めております。

そこでは、情報化、国際化、少子高齢化社会や環境問題等に対応できる現代のゼネラリストとしての基礎教養を身につけさせると共に、教員養成課程では、学生の個性と関心に従って、履修科目の選択範囲を広げて個性的なスペシャリスト教員を養成することを目指し、また、生活文化総合課程(仮称)では変動する時代の要請に対応して、地域や組織の具体的な課題を解決しながら、地域の活性化に寄与しうるクリエイティブな新教養人を育成することを目指すことにしています。

このようにして、学部組織の編成替えは勿論、新しい理念の下での新カリキュラムの創出と同時に、二十一世紀大学の大学院重点化の方向とも関連して、大学院未整備専修の立ち上げにも、同時進行で鋭意取り組んでおりますので、本年もどうぞよろしくご理解とご支援・ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

最後に、同窓会の皆さま方のご多幸をお祈り申し上げます、ご挨拶いたします。

プロフィール

教育学部は今

教育課程審議会の「中間まとめ」が出版され、「生きる力」の育成がより重要視されており、私たち自身の生涯学習も望まれています。また、国際化・情報化への対応も身近な問題として無視できません。

今回は、それらに対応する大学の事業としての「公開講座」「大学院教育学研究科」「留学制度」の現状について紹介いたします。

「公開講座」

平成八年五月「生涯学習教育研究センター」(センター長:佐藤三三)が設置され、他関係機関と連携しながら地域に根ざした公開講座が設けられています。各学部のもの合わせ、私たちの生涯学習の場として大いに利用できるのでないでしょうか。

参考までに平成九年度開校された講座の一部を紹介します。

講座名	開催日 開催時間帯	時間数 (回数)	場所	対象者	募集人数	受講料	担当部局 等
講演会—くすりのはなし 「くすりの処方イロイロ」	5/30 18:00~19:30	1.30 (1)	医学部コミュニケーションセンター	一般市民	80	0	生涯学習教育研究センター 医学部コミュニケーションセンター
講演会—くすりのはなし 「くすりの飲み方アレコレ」	6/6 18:00~19:30	1.30 (1)	医学部コミュニケーションセンター	一般市民	80	0	生涯学習教育研究センター 医学部コミュニケーションセンター
講演会—くすりのはなし 「くすりと食べ物の飲み合わせノウハウ」	6/13 18:00~19:30	1.30 (1)	医学部コミュニケーションセンター	一般市民	80	0	生涯学習教育研究センター 医学部コミュニケーションセンター
明日の教育を考える	7/11~7/25 18:30~20:00	4.30 (3)	医学部コミュニケーションセンター	一般市民	40	4,400	生涯学習教育研究センター
時代のキーワードを読む	8/21~9/17 18:30~20:30	14 (7)	青森市文化会館	一般市民	60	6,400	生涯学習教育研究センター 青森市教育委員会と共催
日本を取り巻く社会環境	9/11~10/16 18:30~21:00	15 (6)	久慈市中央公民館	一般市民	40	6,400	生涯学習教育研究センター 久慈市教育委員会と共催
生活と環境を科学する	9/26~10/15 18:30~20:30	14 (7)	東北町中央公民館	一般市民	40	6,400	生涯学習教育研究センター 東北町教育委員会と共催
地域に生きる～ 北の暮し・南の暮し	7/1~7/18 18:30~20:30	12 (6)	三沢市公会堂	一般市民	40	6,400	人文学部 三沢市教育委員会と共催
中国の現代化と日本	7/5 13:00~17:00	4 (1)	人文学部	一般市民、 学生、 教職員	60	0	人文学部
中国、インド、西アジア の地域の歴史と文化を考える	11/15 13:00~15:30	2.30 (1)	人文学部	一般市民、 学生、 教職員	50	0	人文学部
初・中級者のための テニス教室(機式)	8/30~9/7 10:00~16:30	15 (3)	弘前大学テニスコート	一般市民	50	6,400	教育学部
生活を科学する	8/30~9/13 13:20~16:30	9 (3)	鶴田町役場	一般市民	50	5,400	教育学部 鶴田町教育委員会と共催
生活を科学する	11/11~11/22 13:20~16:30	12 (4)	木造町役場	一般市民	50	6,400	教育学部 木造町教育委員会と共催
夏休みの数学97 非ユークリッド幾何学	8/6 10:00~16:00	5 (1)	理学部	中学、高校数学 担当教師、 一般市民	30	4,400	理学部

平成 9 年度入学状況の内訳

研究科	専攻	区分	入学者数	合格者数	受験者数	志願者数
教育学研究科	学校教育専攻	新卒者	5	7	7	7
		留学生	1	1	1	1
		社会人	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)
		その他	2	2	2	2
		小計	13 (5)	15 (5)	15 (5)	15 (5)
	教科教育専攻	新卒者	8	8	11	11
		留学生	0	0	0	0
		社会人	4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)
		小計	12 (3)	12 (3)	15 (3)	15 (3)
		計	25 (8)	27 (8)	30 (8)	30 (8)

〔大学院教育学研究科〕
平成六年四月に設置されて以来、現職教員の再教育の場としても大きな意義をもち、例年定員のほぼ三分の一の割合で入学しています。
平成九年度の入学状況の内訳は次のとおりです。

* () 内の数は、現職教員で内数

このほか学部間協定として、教育学部はアメリカ合衆国のサウスカロライナ大学と締結しています。その関係で、テネシー大学マーチン校や、サウスカロライナ大学にも毎年留学生が派遣されています。また、弘前市では、市内の中学生が「中学生国際交流学習事業」としてマリン市の中学生との交流を行い、友好関係を深める担い手となっています。
弘前大学には現在六十四名の外国人留学生が学んでいます。彼らが日本文化を貪欲に吸収しているように、私たちも意識的に働きかけることで、異文化を知り、良い機会が得られるはずで、
実際、彼らにはコミュニケーションが

平成 9 年 5 月 1 日 現在

締結大学	国名	締結年月日
テネシー大学マーチン校	アメリカ合衆国	昭和55年 7月 8日
ボルドー第 3 大学	フランス共和国	平成 6 年 1月 31日
哈爾濱師範大学	中華人民共和国	平成 7 年 8月 1日
ハバロフスク医科大学	ロシア共和国	平成 7 年 12月 14日

〔留学制度〕
現在、国際交流協定締結大学は大学間においては右表のとおりです。

区分	国名														計		
	中 国	韓 国	台 湾	タ イ	マ レー シ ア	フ イリ ピン	バ ン グ ラ デ ィ シ ュ	チ エ コ	フ ラ ン ス	イ タ リ ア	ス ウ エー デ ン	ア メリ カ 合 衆 国	ブ ラ ジ ル	チ リ		ポ リ ビ ア	ア ルゼ ンチ ン
学部留学生	私費正規留学生	6(1)	1	1		6(3)											14(4)
	国費研究生													1			1
	国費教員研修留学生	1(1)															1(1)
	私費研究生	6(1)	1	1(1)				1(1)								1(1)	10(4)
	私費科目等履修生・聴講生	1										2					3
	国費日本語・日本文化研修留学生				1(1)			1(1)	2(2)			1(1)					5(5)
大学院留学生	国費正規留学生	10(4)				1	1(1)		1	1		1				15(5)	
	私費正規留学生	10(2)		1(1)												11(3)	
	私費研究生	3(2)												1		4(2)	
合 計	37(11)	2	3(2)	1(1)	6(3)	1	1(1)	2(2)	2(2)	1	1	3(1)	1	1	1(1)	64(24)	

図れる場には積極的に参加しようとする姿勢が感じられます。中には留学生を通して大使が来弘し、交流を深めたという例もあります。

平成十年度

教員採用試験について

本会の重要事業でもあり、発足以来継続してきた県教育委員会との定例懇談会が、委員会の事情により開催することができなくなりました。

今年度も就職対策委員長の被服学教授羽賀敏雄先生から採用試験に関する情報を提供して頂きました。

一 平成九年度就職状況

卒業者三三五名のうち就職についた者(講師等を含む)は一四六名でした。これは全体の四三・六%に当たります。また、教員以外への就職者は五十名で、一四・九%です。

全国の教員養成大学四九校のベスト10は次表のようになっていきます。

大学名	%
上越教育	65.0
福島	63.6
信州大	59.3
北教大	57.1
愛知教育	49.4
和歌山	48.4
広島山	47.2
井田	46.7
福井	46.5
福井	46.5
福井	45.8

当弘前大学は十一位(昨年度は七位)となりました。

二 平成十年度教員採用試験について

○全般に退職者は現象傾向にあり、採用数も減少しています。

○複数免許は免許外教科解消のために減

迎はされますが、あくまでも人物重視で、子どもと同じ目線でみることができるといえます。

三 平成十年度青森県教員採用試験結果

青森県教員採用試験の状況の過去六年間の推移は次表の通りです。

	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	
受験者	受験者全体	1,788	2,019	2,256	2,375	2,573	2,613
	弘前大学	347 (19.4%)	368 (18.2%)	399 (17.7%)	431 (18.1%)	497 (19.3%)	581 (22.7%)
	教育学部	271 (15.2%)	274 (13.6%)	303 (13.4%)	322 (13.6%)	364 (14.1%)	428 (16.4%)
内定候補者	受験者全体	521 (29.1%)	406 (20.1%)	407 (18.0%)	448 (18.9%)	431 (16.8%)	390 (14.9%)
	弘前大学 (弘大内合格率)	173 (49.9%)	135 (36.7%)	132 (33.1%)	136 (31.6%)	119 (23.9%)	115 (19.8%)
	教育学部 (学部内合格率)	150 (55.4%)	106 (38.7%)	107 (35.3%)	104 (32.3%)	91 (25.0%)	92 (21.5%)

今年度教育学部の受験者四二八名は、現役一九五名、既卒者二二三名となっております。

また、教育学部の内訳は次のとおりです。

	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	
教育学部内訳	小学校	99	66	63	66	50	58
	中学校	37	28	36	23	27	23
	高等学校	3	5	2	4	3	7
	養護教諭	11	7	6	11	11	4
	合計	150	106	107	104	91	92

合格者の九十二名は現役が三十七名、既卒者が五十五名です。

また、一次試験での合格者が多めになっていますが、二次試験での個人面接に重点を置くためのようです。

面接重視の意味をよく理解しておく必要があります。

創立五十周年記念について

前回記念事業推進のため、各学部の同窓会やOBによる「後援会」が発足したことをお知らせしましたが、このほかに県内関係機関、関係団体、企業などによる「協賛会」、学内教職員による「記念事業実行委員会」などが組織されて活動しています。

○記念行事週間

平成十一年五月三十一日(月)から

○記念式典・記念講演・祝賀会

平成十一年六月五日(土) 弘前文化センター(寄付者に案内予定)

○募金状況(目標七億三千万円)

九年十二月現在、五億五千六百万円(企業会社等 四億八千九百八十万円)

教育学部趣意書発送数 一二六二四部

寄付者数 四八一件

寄付金額 九百九十五万八千円

お知らせ

昨年六月に同窓会名簿の改訂版を発刊しましたが、その名簿作成に使用したフロッピーを買いました。同期会などで必要な場合は事務局へご連絡下さい。



庶務報告

- 8. 6.8 平成8年度総会
- 8. 7.17 同窓会費納入依頼 (1)
- 8.12.16 同窓会費納入依頼 (2)
- 9. 1.20 教員採用試験結果について
- 9. 2.13 教育実習反省会
- 9. 3. 5 会報「あすなろ18号」発行
- 9. 3.10 同窓会費納入依頼 (3)
- 9. 3.21 弘前大学卒業式・祝賀会
- 9. 3.24 事務局打ち合せ
- 9. 5.28 平成9年度総会案内状発送
- 9. 5.31 会計監査

☆教育学部(厚生係・会計係)との
事務連絡は随時

平成9年度弘前大学教育学部同窓会定時総会は、新緑の候、平成九年六月十四日(土)午後二時よりプリンスホテル別館の『さくら亭』において開催されました。総会の議事内容他以下のとおりです。

平成九年度 弘前大学教育学部同窓会 定時総会報告

平成8年度収支決算報告書

(8.4.1~9.3.31)

○収入の部				
	8年度予算	8年度決算	備	考
終身会費	4,950,000	5,181,720	14,890	×348
繰越金	338,132	338,132		
雑収入	6,000	4,318	利子	
計	5,294,132	5,524,170		

○支出の部				
	8年度予算	8年度決算	備	考
総会費	220,000	203,219		
評議会費	160,000	76,000	旅費を含む	
支部活動費	500,000	500,000	50,000×10	
会費徴収費	35,000	30,900	会費納入案内	
通信費	70,000	60,740	総会案内、督促状他	
就職対策費	700,000	500,000	大学500,000	
教生対策費	250,000	250,000	教育実習連絡協議会	
大学院対策費	200,000	200,000		
特別対策費	200,000	92,000	講師派遣	
卒業祝賀会費	150,000	110,000	卒業祝賀会他	
会報	250,000	213,210	あすなろ18号	
新会員名簿印刷費	200,000	31,930		
基金	2,100,000	2,600,000		
事務費	200,000	200,000	事務謝礼他	
雑費	59,132	15,800	職員録他	
計	5,294,132	5,083,799		

繰越金 440,371円

平成9年度予算書

(9.4.1~10.3.31)

○収入の部				
	8年度決算	9年度予算	備	考
終身会費	5,181,720	4,950,000	15,000	×330
繰越金	338,132	440,371		
雑収入	4,318	5,000	利子	
計	5,524,170	5,395,371		

○支出の部				
	8年度決算	9年度予算	備	考
総会費	203,219	220,000		
評議会費	76,000	120,000	旅費を含む	
支部活動費	500,000	500,000	50,000×10	
会費徴収費	30,900	35,000	会費納入案内	
通信費	60,740	70,000	総会案内、督促状他	
就職対策費	500,000	500,000	大学500,000	
教生対策費	250,000	250,000	教育実習連絡協議会	
大学院対策費	200,000	1,200,000		
特別対策費	92,000	150,000	講師派遣	
卒業祝賀会費	110,000	150,000	卒業祝賀会他	
会報	213,210	250,000	あすなろ19号	
新会員名簿印刷費	31,930	35,000		
基金	2,600,000	1,650,000		
事務費	200,000	200,000	事務謝礼他	
雑費	15,800	65,371	職員録他	
計	5,083,799	5,395,371		

特別会計基金より
50周年記念募金 1,500,000円
同窓会名簿補助 1,500,000円

※ 特別会計基金 (1年定期預金)

青森銀行	8,991,905	みちのく銀行	9,011,921
+ 1,400,000 (8年度基金)		+ 1,200,000 (8年度基金)	
合計	10,391,905	合計	10,211,921

事業計画

1. 総会
2. 教員採用試験結果について
3. 会報「あすなろ19号」発行
4. 弘前大学卒業式・祝賀会
5. 教育実習反省会
6. 弘前大学創立50周年記念の支援
7. 同窓会名簿の作成
8. その他

平成九年度役員

名誉会長 小澤 薫(教育学部部長)

顧問 斎藤 善三(弘前市)

会長 木村清之助(弘前市)

副会長 笹 良夫(青森市)
中川原兵威(八戸市)
竹内 照明(板柳町)
杉山 芬(青森市)
工藤 睦男(弘前大学)

会計・監査 塩原 鉄郎(弘前大学)
太田 耕正(南高校)

支部長

1. 弘前・中郡支部 笹森 義男(弘前二中)

2. 黒石・南郡支部 栗林 欣一(平賀東小)

3. 五所川原・北郡支部 北沢アキ子(羽野木沢小)

4. 西郡支部 葛西 英之(繁田小)

5. 青森・東郡支部 久保 富男(北中)

6. 八戸・三戸郡支部 新山 徹(青潮小)

7. 三沢・十和田・上北郡支部 山田 誠司(下田中)

8. むつ・下北郡支部 尾本 公英(大畑中)

9. 弘前大学教育学部支部 村山正明(教育学部)

10. その他の地区支部

評議員

1. 弘前・中郡支部

小野 禎亮(弘前市)
今泉 徹三(弘前市)
赤石 和夫(弘前市)
高岡 實(弘前市)
鈴木 弘(弘前市)
佐藤 健(岩木小)
佐々木利直(和徳小)
工藤 光男(石川中)
佐藤 忠蔵(致遠小)

2. 黒石・南郡支部

奥崎 進(藤崎中)
花田 幸三(大鰐中)
成田 清一(浪岡町)
秋田 豊(弘前市)
高木 了司(常盤村)
羽賀 桂一(田舎館小)
奈良 武則(弘前市)

3. 五所川原・北郡支部

徳田千鶴子(菖蒲川小)
中谷 豊(脇本小)
成田 徹夫(金木小)
杉山 栄和(中里小)
吉岡 恵一(第四中)
野崎 正人(鶴ヶ岡小)

4. 西郡支部

楠美 和子(沖飯詰小)
田中 初美(小阿弥小)

千葉 良一(弘前市)
三上健之助(柏村)

高橋 秀一(赤石小)
加藤 修司(赤石小)
藤田 譲(弘前市)
黒滝 清昭(芦泡小)
赤坂 桂吾(車力小)
宮本 益人(明道小)

5. 青森・東郡支部

大坂 浩昭(沖館中)
奥崎 隆(泉川小)
佐藤 泰邦(浜田小)
玉熊 眞雄(篠田小)
小松 喆(山口小)
横浜 盛昭(小湊小)
青山 栄明(横内中)
奈良 年永(西中)

6. 八戸・三戸郡支部

成田 誠二(柏崎小)
佐々木英治(長者中)
関根 建夫(剣吉小)
大庭 紀元(福地中)

7. 三沢・十和田・上北郡支部

吉田 信也(堀口中)
鳳至 吉夫(六カ所二中)
石坂 敏夫(七戸小)
千葉 治昭(元乙供中)
佐藤 久東(十和田市)

8. むつ・下北郡支部

葛西 紀一(上北中)
岩田 繁雄(三川目小)
菊池 良久(七戸中)

石川 貞吉(入口小)
布施 勝大(畑中)
竹浪 和夫(金矢沢小)
加世多寿雄(檜川小)
松原 勝寿(大畑小)
工藤 魏(風間浦中)
福士 淳一(大間中)
奈良 和子(関根小)

9. 大学教育学部支部

丹藤 進(教育)
平岡 恭一(教育)
盛 玲子(教育)
佐藤 武司(教育)
福士 兼義(附小)
清藤 紀子(附中)
大高 芳郎(附養)
斎藤 啓子(附幼)

常任委員

相馬 正栄(自得小)
伊藤 學(弘前市教委)
葛西 一誠(船沢中)

